



## TAJ タージ 第3回南三陸戸倉地区支援交流会バスパックのご報告

一年を迎える3月10日から1泊2日で、南三陸町戸倉地区を訪問し物資支援とお茶会交流会を行いました。茅ヶ崎からは総勢26名で参加し、初参加の方も13名いました。今回はボランティア活動に行く人を見守り、送り出してきたご家族方々にも、「この震災を何かの形で感じてほしいと言う御希望に答える」震災1年後を知るツアーでもあり、また初めて参加で現地を見て感じたいという方もご参加頂きました。支援物資は、先月訪問した際にアンケートに記載のあった具体的な物をお届けする活動を行いユーザー、料理量り、毛糸、物置等を支援しました。また今回、戸倉中学校と津の宮の集會場で、お茶コーヒーとケーキでの交流会を開催しました。

戸倉中学集會場には津の宮の方数名と戸倉中の数名が来られ、お話ししました。また船の支援で一度茅ヶ崎に来られたお二人も参加し、波伝谷のわかめを持ってこられ、急遽わかめしゃぶしゃぶの交流会となりました。皆さん少しずつでは有りますが笑顔が増えてきている感じを受けました。

津の宮には、多くの子供達がいきました。事も担当のご夫婦は早速輪の中に入って、野球や球遊びをしていました。集會場の中では、お茶会が開かれ、初めは会話も少なかったが、一人が話を始めると次から次へと広まり気がつく賑わう集會場と化していました。戸倉を繋がりきっかけとなった三浦勝夫さんはあらためて震災体験を話されました。とても貴重な話を伺いました、次の日は、戸倉小学校で、約1時間の語り部もしてくだされ、小学校の判断の正しかった重要性を語りかけてくれました。



今回ホテル観洋の語り部の渡邊さんに約一時間の南三陸町の震災語り部バスを実施して頂きました。病院、防災庁舎、アリーナ、魚市場を回りました。話を伺いながら聞くと改めて今回の災害の大きさを痛感しました。渡邊さんも被災当時はホテルでの対応に追われ、家族を探しに出たのは4日後だったそうです。家も流され奥様子供の安否を捜し求め奇跡的に助かったそうです。「引っ越した時に歩いた丘上の幼稚園(避難所)を見た経験があり」その経験が家族を救いました。

今回語り部ということで多くの話を聞く機会を持ち、改めて継続した支援の大切さを感じました。又、津の宮、波伝谷の方々と交流を持ち、此方の支援を考えたいと思います。今回も問題なく支援交流会が開催できたのも、TAJへの支援金や関係各位の皆様の協力があったからだと思っています。

あらためて本当に有難うございました。引き続き皆様の支援を宜しくお願いいたします。

2012年03月 Team Aid for Japan ～ しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア

